

会 議 録

会議の名称	令和８年度 第１回茨木市産業振興アクションプラン推進委員会
開催日時	令和 ８ 年 ８ 月 ４ 日（火） （午前 午後 ） １ 時 ００分 開会 （午前 午後 ） ３ 時 ００分 閉会
開催場所	茨木市役所南館３階 防災会議室
議 長	野口 義文 氏（立命館大学 副学長）
出 席 者	伊津田 崇氏（中小企業診断士）、大岩 賢悟氏（市内事業者）、 岡田 賢晃氏（近畿経済産業局）、奥山 結衣氏（市民委員）、 五寶 美奈子氏（市民委員）、辰巳 雪絵氏（市内事業者）、 中野 拓二氏（茨木商工会議所）、野口 義文氏（立命館大学 副学長）、 藤井 茂男氏（市内事業者）、吉浦 進志氏（北おおさか信用金庫）（10人）
欠 席 者	大坪 さやか氏（市内事業者）、辻田 素子氏（龍谷大学経済学部）
事務局職員	足立副市長、小西くらし産業環境部長、河原くらし産業環境部次長兼産業振興課長、 小倉産業振興課専門監、長野産業振興課長代理兼商工観光グループ長、藤山雇用 促進グループ長、浦経営支援グループ長、西岡企業支援グループ長、潮田産業振興 職員 （９人）
議題(案件)	(1) 委員長、副委員長の選出について (2) 会議の公開について (3) 第４期アクションプランの進捗報告について (4) 令和８年度の事業について (5) 提案公募型補助制度の審査結果の報告について
配付資料	・議事次第 ・アクションプラン取組評価シート（資料１） ・第４期プラン基本取組・具体的事業及び今後の検討事項（資料２-1） ・令和８年度事業について（資料２-2） ・提案公募型補助制度の審査結果について（報告）（資料３）

議事の経過

1 開 会

事務局：開会のあいさつ

委員出席状況（12人中10人出席により会議成立）

2 趣旨説明

事務局：（産業振興アクションプラン推進委員会の趣旨・概要を説明）

3 委員長・副委員長の選出について

事務局：委員長に野口委員、副委員長に伊津田委員をそれぞれ選出することについて承認された。

4 会議の公開について

事務局：市の指針に則り、会議は原則公開とすることについて承認された。

会議録は要約したものを公開し、発言者は個人名を記載することについて承認された。

なお、今回の傍聴希望者はなし。

5 第4期茨木市産業振興アクションプラン進捗報告について

事務局：（アクションプラン概要版、資料1をもとに説明）

＜質疑・意見等＞

委員長：第4期のアクションプラン進捗報告について、今回は成果指標の令和7年度の実績値と取組評価をご説明いただきましたが、事務局の説明に対して、皆様のご意見を賜りたいと思いますが、私から1点質問いたします。取組番号5－2－4の成果指標としている「観光振興事業の取組」とは具体的には何を指すのでしょうか。

事務局：市と民間が協力して取り組むものを設定しており、各種イベントやツアーをカウントしています。内訳としましては、大阪観光局との連携事業が1件、株式会社エイチ・アイ・エスとの連携したツアーが1件、亀岡市と連携したサスペンスツアーが1件、市が従前より実施している茨木フェスティバル、イルミネーションを含めた「いばらき冬遊び」イベントの5件です。

委員長：広く市民にも公表する数値になるので、分かりやすいように例示としてこういったものがある、とした方が理解しやすいと思います。

もう一点ですが、評価値の「順調に進行」「おおむね順調に進行」「進行にやや遅れ」「進行に大幅な遅れ」とありますが、具体的に目標に対して実績が何%達成したかの指標はありますか。

事務局：「順調に進行」が80%以上、「おおむね順調に進行」が50%以上、「進行にやや遅れ」が50%以下、「進行に大幅な遅れ」が30%以下としており、そのパーセンテージを基に評価しています。

委員長：分かりました。その基準も示した方が良いかと思います。ほかにご質問等ある方はいらっしゃいますでしょうか。

中野委員：5－2－2「事業活動の支援」の成果指標の「事業者による地域支援や地域活性化」が減っているように見受けられます。具体的にどのような取組でしょうか。また、目標値が上がっているのが心配です。

事務局：元々こちらの取組は商店街・会のイベントの取組をカウントしていましたが、商店街・会のイベントがここ数年で徐々に減っており見込んでいた数値に届いていません。件数としては、万博関連イベントが1件、産業活性化プロジェクトイベントが2件、アルプラザで行ったイベントが1件、商店街のイベントが3件でした。以上のことから、商店街以外の取組も増えてきているので、目標設定は上向きにしています。

委員長：こちらについても、万博イベントは終了しましたし、商店街イベントも減ってきているので、それ以外の取組も増やして目標値に近づけるようにしてください。ちなみに、令和8年度の4月からの実績見込みはどうですか。

事務局：いくつかすでに実施しているものもありますが、昨年のペースとさほど変わりません。

中野委員：茨木商工会議所で行っているイベントもカウントしてはどうでしょうか。

事務局：広くカウントする方向で検討します。

委員長：一度決めた目標値を期中に変更することができないので、目標達成に向けて、実現可能性が高いものにぜひ注力してください。

事務局：目標の数値設定は難しいと感じています。事業の結果何が起こったら成功かというアウトプットの指標が多いが、そのあたりに分かりにくさがあると思います。今後引き続き考えていければと思います。

委員長：今年の夏も猛暑のため、人がお店に行かず事業者がダメージを受けているところもあります。ぜひ、その点も念頭に置きながら色々な事業ができればいいと思います。

6 令和8年度の事業について

事務局：（資料 2-1、2-2 をもとに説明）

＜質疑・意見等＞

委員長：京都では寺社仏閣が多く、多くの観光客を呼び込んでいます。各寺社仏閣には背景やストーリーがあり、定着させて切れ目がないようにしているそうです。茨木市はダムパークを徹底的にやるという方が良いように思います。事務局からの説明がありましたが、質問やご意見等がございましたらお願いいたします。

辰巳委員：茨木フェスティバルのオープンカンパニーブースに参加しました。初めて茨木フェスティバルに参加し、子育て世帯を中心にたくさんの方が来てくださり驚きました。オープンカンパニーにも興味をもっていただき、知らない方にもアピールでき良い機会でした。しかし、申し込み時期や詳細が決まっていなかったので参加者に伝えきれなかったのが残念でした。

委員長：これまで代表企業が 3 社でしたが、今年は参加企業が全て代表企業になるということです。運用上の手間の面などもあると思いますが事務局としてはどうですか。

事務局：代表企業はこれまでと同じ 3 社で、役員という形で参加していただきます。参加企業に実行委員会形式でやっているということを認識いただくため、すべての参加企業に実行委員会へ入っていただく形です。

委員長：辰巳委員、今回のオープンカンパニーの開催日は日曜日の 22 日、祝日の 23 日、平日の 24 日ですが企業としてはいかがですか。

辰巳委員：企業によって色々な意見があります。

事務局：企業の事情もあるので、開催しやすい日を選んでいただけるようにこの日程にしています。すべての日に参加することが必須ではありません。ちなみに、現時点では祝日、平日の参加が少し多い状況です。

五寶委員：事業承継の相談会について、継ぎたい人が多く来られたのが意外でした。

また、観光についてはダムパークいばきたに絞っていいと思います。個人的には吊り橋だけではなく生保半島さくら広場の背景、ストーリーもおもしろいと思うので観光のパッケージに取り込めたらいいと思います。

委員長：「生保半島さくら広場」というのは初めて聞きましたが、桜の木が植わっており、花見ができる公園なのですか。

事務局：ダムの中に沈んだ生保地区という全戸移転した地域があります。昔から「生保半島」と呼ばれていたことや地域の方の思いもあることから、名づけられた経緯があります。移転後の生保地区には石碑も残されています。

中野委員：事業承継については、商工会議所も取り組んでいます但し継ぎたい人からの相談が増えており、学生が事業を買いたいと言ってきたケースもあります。楽に起業したい人が増えています。ただ、引き継いでほしい側の事業は少ないので、掘り起こしが課題です。

委員 長：マッチングはなかなか困難なようですね。引き受け手も法人だったり、学生のような個人だったり様々なようです。

大岩委員：事業承継について、周りでも突然体調悪くなり辞めたい、という方が増えています。お店が順調でも突然辞められる方もいらっしゃいます。今後アクションプラン策定する時の調査で、こういった背景の方が事業されているか、跡取りはいるのかを調査してはどうでしょうか。そして、その後はどうしたいのかまで聞き取りしてフォローしていればマッチングもスムーズにできるのではないのでしょうか。
あと 10 年経てば、消費者の購買行動が変わってくると思います。中心市街地の動きを見て、事業者と消費者のニーズを把握することが重要かと思います。
また、ふるさと納税の開発支援は何件の応募があつて 2 件採択されたのでしょうか。そして、今後はこういったものが開発されることが望ましいかの方針はありますか。

事務局：応募 2 件中 2 件採択でした。今回は特にジャンルをしぼることなく広く募集しました。また、補助金額もそこまで多くはないので、小規模で行える方が応募されました。今後はここを特に増やしたいという明確なビジョンがあるわけではありませんが、まずふるさと納税返礼品へ参入するきっかけづくりだと思っています。そこで反響が大きければ今後の展開も検討していきます。

大岩委員：ふるさと納税から地域産品を広げていきたい意図があると思いますが、商品にストーリー性、地域性、歴史などを含めて展開していければ地域産品として成長するのではないかと思います。

委員 長：ありがとうございます。

奥山委員：茨木フェスティバルでのオープンカンパニーは、おにクルに涼みにきている人たちが中心で参加していたように感じました。
ただ、養精中学校でもお仕事体験のイベントをやっていて、同じような種類なので興味がある人が行き来できる機会だったのに、距離も離れていて少しもったいないなと感じました。
観光事業について、ダムパークの入場料を無料にするなどをやっていたが、結果、人の入りがどうなったのかが気になります。
最近行ったときに、風の丘ゾーンの駐車場が満車になっていました。夏なので水遊びをする方が多いように感じました。

事務局：ダムパークについては、一時期は来てもらうことを目的に入場料 500 円を無料にしましたが、吊り橋を渡る方が思うように増えませんでした。これから、入場料は有料ですが吊り橋とセット券で売り出すことにし、市民向けには平日料金を設定しました。今後は吊り橋体験を全面的におしだすように事業者は考えているようです。まだまだ知名度が低いので、これからも P R していく必要があると考えています。風の丘ゾーンはインスタグラムで取り上げられたため、人が増えました。同じことが見山の郷でも同じことが起きており、交通渋滞を引き起こしてしまったため、水遊びが中止になっています。以上のことから、市内にも人が集まるポテンシャルがあると感じています。また、委員のおっしゃっているとおり、オープンカンパニーと職業体験イベントは繋げて相乗効果をもたらすような仕組みを考える必要があります。

藤井委員：あいきゃっちや創業支援について、事業者にあまり情報が届いていないように感じています。周りの事業者も補助金等の創業支援があることを知らない方もいるので、もう少し情報が届く何かがあればいいなと思います。ダムパークについて、インスタグラムで取り上げられることが集客に繋がりますが、ダムパークには取り上げる事柄が少ないように感じます。この間、ダムパークは空いているから犬の散歩に向いていると聞きました。キッチンカーで出店したときも、せっかく入場料払って来たのにこれだけ？のような意見も聞きました。したがって、もっとダムパーク内の内容が充実してから大々的に P R した方が良いのではないかと考えます。観光施策方針の「山の魅力の持続可能な体験型」とはどういったものなのかがピンとこないのです、どういったことをやっていきたいのか教えてください。また、来場者が今どれくらいいて、どれくらいの人数が来てほしいのか、どの程度で成功とみなすのか指標があれば教えてください。

事務局：観光施策方針としては、具体的にこれといって何かを定めているわけではありません。要素は十分ではないのは確かですが、今後バーベキュー施設ができたりとできることが増えていっている現状があるので周知自体はできる範囲でしていきたいと思います。確かに来られた方の満足度が高くなればリピート率も多くなると思います。犬の散歩についてもおっしゃっていただいているとおりで、犬のイベントも行うと盛況になるとも聞いています。その方向性で盛り上げていくのか、ほかの要素の方がいいのか模索しながらやっている状況です。そして、まず知ってもらうことを大事なので、P R 活動は工夫する必要があると思います。

藤井委員：未来像があるといいのかと思います。ここにこんなものができます、というような説明があればイメージもつきやすいです。バーベキュー施設もほとんど知られていないように感じます。

事務局：バーベキュー施設は民間ベースで行うので、市がどこまで対外的に発表できるか難しいところです。ただし、出せる情報は出しているつもりですがうまく伝えられていないかもしれません。

また、ダムパークは一回で完成するものではなく、徐々にできることを増やしていくコンセプトなので、おっしゃっていただいたような完成形を示すことは難しいかもしれませんが、次の図を示していけるようにしていきたいと思います。

ダムパーク来場者は年間 30 万人ほど、吊り橋は 19 万人ほどです。目標数値は実はしっかりもっていないのが現状です。

委員長：一定のあるべき姿は示した方が事業者もやりやすいかと思います。ぜひお願いします。

吉浦委員：ダムパークについて、北おおさか信用金庫でバスツアーを催行したことがあります。その際、ダム事務所で地域の生い立ち、ダムの構造を説明してくれました。一度そういったツアーに参加すれば興味も出ますし、ダムパークだけではなく相乗効果でいばきたが盛り上がると思うので、エイチ・アイ・エスのバスツアーはとても良いと思います。

事業承継について、譲りたい人がなかなか手を挙げづらく、事業を引き継ぎたい人の数が圧倒的に多いと感じています。市が市内企業をバックアップする形で事業承継に関われば関係機関ももっと連携しやすいと考えます。

若者のための職業体験イベントについて、PRが足りないように感じました。もう少し周知、集客があればもう少し大規模なイベントになるのではと考えます。

委員長：ダムパークのブランド化に対するご意見や、事業承継については市に事業承継コーディネーターになってほしいというご意見、イベントのPRについてのご意見がありました。以上を踏まえて事務局いかがですか。

事務局：事業承継については、今年5月に勉強会を職員向けにしました。従前から取り組んでいただいている機関よりもノウハウがまだまだ足りないのが現状です。あくまで市の役割は窓口になって、困っている方がいれば適切な相談機関につなぐことが目的だと考えていますので、その力を身に付けたいと考えています。

イベント周知は、HPや広報誌や各中学校にも周知していますが、高校生はテスト期間と被っており、日程的に厳しかったかもしれません。今年も周知活動は頑張っていきます。

中野委員：「とりすき共創部」を立ち上げ、昨年から動いてまいりました。先日「とりすき」が情報誌にも取り上げられ、イベントへの出店依頼がくるようになりました。今後、協賛店舗も募集し、市の新たなグルメとして盛り上げていきたいと考えています。観光と関連して市に来られた方がお金を落とす先の選択肢になればいいと考えていま

す。

副委員長：1点目、創業支援のアフターフォローについて、創業した後のサポートに私も関わっています。経営状況を聞き取りしながら、個人経営の店舗なので、店舗ごとに適切なアドバイスを行っています。

2点目、ふるさと納税の返礼品について、他市に比べて茨木市は弱いと感じていたので、補助金を出して事業者を掘り起こすことは良い取組だと思うので続けてほしいと思います。

3点目、観光ツアーについて、今後を楽しみにしています。私が過去に行ったことがあるツアーの例をお話します。福井県の一乗谷は朝倉義景ゆかりの地で、あまり有名ではありませんが、ツアーの中で博物館や復元した映像を見た後に、実際の史跡に行くという行程で、見聞きしたものがうまくリンクするように構成されているツアー内容でした。茨木市は特別に有名な何かがあるわけではありませんが、ポイントごとにうまくリンクさせるなどしたら観光も盛り上げていけるのではないのでしょうか。

事務局：観光において、コンテンツをどう絡めていくかは手探りでやっているところです。株式会社エイチ・アイ・エスに市内のバスツアーを企画していただいたり、着眼点を変えながら、本市の観光地としての認知度やブランド力を向上させる取組をしています。

7 提案公募型補助制度の審査結果について（報告）

事務局：（資料3をもとに説明）

＜質疑・意見等＞

委員長：何か意見はありますか。

（意見等なし）

8 閉会

事務局：次回の委員会は秋頃を予定しております。

それでは、以上をもちまして委員会を閉会させていただきます。

ありがとうございました。